

## ■国のレッドリストに基づく貴重種(2)

### ◆情報不足(DD)…4種

ヘラサギ アカツクシガモ オシドリ アカハジロ



P28

ヘラサギ



P18

オシドリ

絶滅危惧について…絶滅危惧種とは絶滅のおそれのある種のことです。

- ◆絶滅危惧ⅠA類(CR)…ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- ◆絶滅危惧ⅠB類(EN)…ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- ◆絶滅危惧Ⅱ類(VU)…絶滅の危険が増大している種
- ◆準絶滅危惧(NT)…現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ◆情報不足(DD)…評価するだけの情報が不足している種

注釈：環境省絶滅危惧種情報ホームページ解説を引用

## ■文化財保護法に基づく貴重種

### ●特別天然記念物…2種

コウノトリ タンチョウ

### ●天然記念物…6種

オジロワシ イヌワシ コクガン ヒシクイ  
オオワシ マガン



P16

マガン

## ■種の保存法に基づく貴重種

### ●国内希少野生動植物種…8種

コウノトリ オジロワシ イヌワシ オオセッカ  
オオワシ ハヤブサ タンチョウ オオタカ

### ●国際希少野生動植物種…3種

コシヤクシギ マナヅル コアジサシ

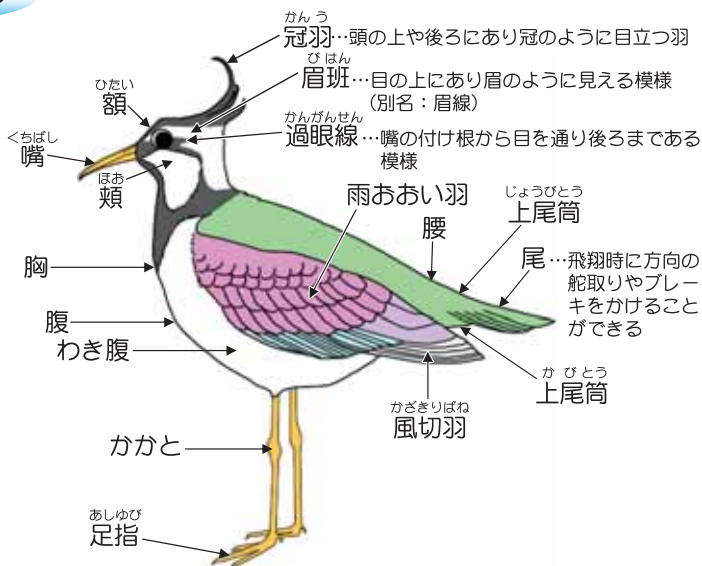


P43

オオタカ

# 用語解説1

## 体のつくり



## 羽のつくり



### ◆ その他のマメ知識

- 夏羽…繁殖羽とも呼ばれ、春～夏に見られる色鮮やかな羽や飾り羽のこと
- 冬羽…非繁殖期に見られ、夏羽より地味な羽のこと
- エクリプス羽…カモ類の繁殖期の後の雄に見られる雌に似た羽色のこと

# マガン

ウ科 全長:72cm

遊水地で見られる時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



【分 布】北日本 冬鳥  
 【鳴き声】「カハハン、カハハン」  
 【飛び方】助走をして直線的に飛び  
 【豆知識】世界的には広く分布し、日本に渡来するものは亜種マガンとされている。多数が越冬のために渡来するが、伊豆沼・蕪栗沼など局地的。極めて警戒心が強い。頭・首・上面は灰褐色。上尾筒の両脇と先端は白く、飛翔時にも良く見える。下面には黒っぽい不規則な横斑がある。  
**環境省レッドリスト種 (準絶滅危惧)、天然記念物**

### 【渡良瀬遊水地での生息状況】

渡良瀬遊水地には毎年2～3羽が渡来しますが、長くは留まっていません。1998年2月に、100羽以上のマガンの群れが飛来したことがありましたが、やはり数日で飛去してしまいました。東北地方の太平洋側に大雪があると、それを逃れて雪のないここに飛来する傾向があるようです。そのほかガンの仲間の、ヒシクイ(絶滅危惧Ⅱ類)やコクガン(絶滅危惧Ⅱ類)が少数ですが飛来することもあります。

# マガモ

カモ科 全長:約60cm

遊水地で見られる時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



【分 布】全国 冬鳥または留鳥  
 【鳴き声】「グエツ、グエツ」  
 【飛び方】垂直に飛立ち、直線的に飛び  
 【豆知識】日本には冬鳥として各地の湖沼、沼沢地、川や海岸などに多数が渡来するが、北海道、上高地、奥日光などでは少数が繁殖している。アヒルの原種である。雄は頭部が光沢のある暗緑色で白い首輪があり、胸は栗色で、嘴は黄色。雌は褐色で嘴は黒い。エクリプスの雄の体色は雌に似ているが嘴は黄色。

### 【渡良瀬遊水地での生息状況】

渡良瀬遊水地では早いものでは9月下旬にはやってきます。谷中湖のほとりを歩いていると、湖畔のヤナギの向こうで「グエツ、グエツ、グエツ」と鳴く声を聞かれます。これはマガモかカルガモの鳴声です。昼間は谷中湖で群れています。夕暮れになると遊水地周辺の田圃に餌を採りに出かけ、夜明けに遊水地に戻ってきます。種ごとに群れをつくり、高く、低く、堤防すれすれに羽音をたてて帰還する様は圧巻です。ここでは数が増加してきているように思われます。

# カルガモ

カモ科 全長:約60cm

遊水地で見られる時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

【分 布】全国 留鳥

【鳴き声】マガモによく似た声で「グエツ、グエツ」と鳴く

【飛び方】垂直に飛立ち、直線的に飛ぶ

【豆知識】各地の水辺、沼沢地のヨシ原に営巣する。田植えが終わったばかりの田圃に多数で着水して、農家を困らせることもある。マガモに比べわずかに大きい。カモの仲間にしては珍しく、繁殖期でも雌雄の羽色は同じ。マガモの雌に似ているが顔は淡色で黒褐色の過眼線があり、黒い<sup>嘴</sup>の先端は黄色い。

【渡良瀬遊水地での生息状況】

渡良瀬遊水地ではマガモに並んで数の多い淡水ガモです。冬は谷中湖などに群れています。春にそれぞれのつがいに分散し、谷中湖湖畔や池内水路、ヨシに隠れた池沼の岸辺で繁殖するが遊水地外に繁殖地を求めていくものも多いようです。巣や雛に人が近づくと偽傷(体を傾け、翼をバタバタさせて、あたかも負傷して飛び立えないような動作)をして人の注意を巣や雛からそらそうとします。そういう動作を見たら、そっと立ち去り、親鳥を安心させてやりたいものです。



# ハシビロガモ

カモ科 全長:約50cm

遊水地で見られる時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

【分 布】全国 冬鳥

【鳴き声】ときどき「クワツ、クワツ」

【飛び方】垂直に飛立ち、直線的に飛ぶ

【豆知識】冬鳥として日本全国に渡来するが、少数が北海道で繁殖する。水面でシヨベルのような嘴を左右に振って、プランクトンや植物を水ごと丸飲みし、こして食べる。雄は頭部が暗緑色で胸・腹は白く、脇腹は栗色。嘴はシヨベル状で大きくてよく目立つ。メスは嘴を除きマガモの雌に似る。

【渡良瀬遊水地での生息状況】

渡良瀬遊水地には、9月下旬には渡ってくるがそれほど多くはないようです。谷中湖では広すぎて、間近に変わった面白い採餌行動を観察するのは難しいのですが、第三調節池の沼などでヨシに隠れて静かに観察すれば、つがいの2羽がクルクル輪を描きながら、大きな嘴で水面をピシャピシャさせて食事をしている微笑ましい姿を見ることが出来るかもしれません。谷田川でも身近に見ることが出来るでしょう。渡来時期が早く、春の渡去が遅い淡水ガモです。

